

〔延喜式^{十三}〕凡九月九日平旦供奉菊酒如常儀

〔年中恒例記〕九月九日 御祝御酒に菊花入申

〔日本歲時記^五〕九月九日略 今日栗子飯を食ひ菊花酒をのむもるこしにも栗子飯を食ふに似たり

糕而重陽爲盛大率以棗爲之或加以栗亦有加肉者といへり又今日餅を食ふは黍黏す下に盛熟せる故黏米を以てこれにかへ餅として食ふこれ新を嘗る意なりと玉燭寶典に見えたり

〔權記〕長保四年九月九日辛丑參内右衛門督參右仗彈正大弼左大辨宰相中將在座上卿召少外記

爲政問諒闇事○去年閏十二月一重陽日給菊酒否事申云正曆有^{其例上}召天曆八年及正曆二年

日記天曆八年十月五日記依諒闇無殘菊宴不給菊酒正曆儲饌無見參云々仍令藏人永光奏事由

仰云可依天曆例仍不羞饌退出右金吾中將共參左府深更退出寬弘○寬弘五年四月六日休暇列

見天曆非節日仍不羞饌依正曆例羞饌可無見參 十日壬寅與源中將詣中務宮左金吾被參云

昨菊酒事不給失也入夜歸 十一日癸卯見天曆八年四月十日旬日記厨家雖儲饌無見參云々就

中四月記不著宜陽殿云々以之見之雖有此儲不羞之羞事待上卿可左右也

〔宜胤卿記〕文明十一年九月九日丙戌重陽佳節菊酒祝著如例

〔年中行事秘抄^九〕九月九日藥司獻茶奠事結付御帳東柱

月舊記云折茶奠房插頭避惡氣而禦初寒也

〔延喜式^{十二}〕藥司

九月九日裏吳茱萸料緋帛二疋緋絲二絢皇后宫亦同

〔延喜式^{三十七}〕凡九月九日吳茱萸甘把附藥司供之

〔東宮年中行事^九〕九月九日てんやくれう供吳茱萸事

てんやくつしよれうらのによくわんきくならびに吳茱萸をたてまつるくら人これをととりひの御ざのはしらにむすびつくもしまよふいまだとけうせずばかれをときてこれをむすび